

10803医薬品製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	6 ～ 7	早朝に自転車で駅に向かう途中、歩道の段差に気付かず、車道から歩道に乗り上げる際に転倒した。鼻下の裂傷および下前歯を損傷した。	59	2	362	500 ～ 999
2	2019	1	17 ～ 18	就業終了後、従業員用通用口に歩いて向かい、出口にある2段の段差を踏み外して捻挫した。	26	2	417	50 ～ 99
3	2019	1	10 ～ 11	サンプリング室で、医薬品原料の重さ約16kgの一斗缶をパレットステーションから室内中央まで両手に1缶ずつ合計2缶を持って運搬していた。約30分経過後に腰痛を起こした。	43	19	611	300 ～ 499
4	2019	1	14 ～ 15	溶解調製室にて蒸気の配管を交換作業中、使用していた工具（レンチ）が滑って外れ、左手薬指を工具に挟んで切傷を負った。	36	7	364	10 ～ 29
5	2019	1	8 ～ 9	製薬工場の充填場で、一人で機械操作の移動中、ファイルを拾おうとしたところ、左足首をひねり骨折した。転倒防止用の滑りにくい靴を履いていた。	55	19	417	300 ～ 499
6	2019	2	8 ～ 9	生産に必要な機材を受け取るために、本館に向かった際、入口の自動ドアから人が出てきて、避けながら中へ入ろうとしたところ自動ドアが閉まりかけ、すぐに立ち止まれず左肩を自動ドアにぶつけ左肩腱板疎部損傷した。	31	3	419	50 ～ 99
			11	包装棟仕上げ室で段ボール組み立て作業中に、足下が作業台に引っ				100

7	2019	2	12	掛かり、後方に転倒した。その際に、後方の机の角に右背中右脇腹付近を強打し骨折した。	52	2	391	～ 299
8	2019	3	20 ～ 21	コンテナBOXから出る際に、BOXの棚を乗り越えようとしたところ、棚に足が引っ掛かり、地面に落下し、右膝部を打撲した。	54	1	611	100 ～ 299
9	2019	3	9 ～ 10	包装室で、ラベリングマシンに付着していたゴミを除去しようとして、機械を停止せず稼動したままのため、貼付けドラムとなつ印ドラムの上に右手親指を挟まれて、親指末節開放骨折した。	27	7	169	100 ～ 299
10	2019	3	5 ～ 6	医薬品の製造を行っていた。粉体の中間体であるANP-フェニルアルコール体を、可燃物のない空の反応缶へ投入する作業を行っていたところ爆発し、顔面、頭部、頸部に熱傷を負った。	26	14	519	50 ～ 99
11	2019	4	16 ～ 17	工場内遠心分離室にて、機内の物質を掻き取るため蓋を開け、右手に専用しゃもじを持ち作業中、物質が粘土質で硬く、強く力を入れて作業した際、右手首を骨折した。	50	19	364	100 ～ 299
12	2019	4	23 ～ 24	資材準備室にて高さ2m程の棚上に置いてあった資材を降ろす際に、腰を負傷した。	35	19	921	100 ～ 299
13	2019	4	7 ～ 8	作業開始前に行う秤点検で使用する20kg分銅を持ち上げた際に腰に激痛が走ったが、続けて50kg以上の精製水秤量も行ったところ、腰椎椎間板ヘルニアとなった。	28	19	921	500 ～ 999
14	2019	4	13 ～ 14	工場の仕上げ室にて、ポリ袋をテーブル上（高さ60cm）で畳む作業中、前かがみで繰り返し行っていたため腰を負傷した。	28	19	921	30 ～ 49
15	2019	4	23 ～ 24	日用品製産のためラインメンテナンス中、コンベアの駆動チェーンにグリースアップし、動作確認後、立ち上がる際、手をつき滑り、チェーンに巻き込まれ右手指先（中指）爪部を切断した。	42	8	224	300 ～ 499
				派遣先薬品工業で膏体保管タンクの洗浄を行う際、タンクの蓋を開				

16	2019	5	19 ～ 20	けていたところ、混錬タンクから膏体保管タンクへ膏体を流し込む部分のパッキンを落下させた。パッキンを取るために、開けた蓋の下に潜り込み、立ち上がる際に保管タンク蓋の取っ手に眼鏡が当たりレンズが割れて、左瞼と左眼球に裂傷を負った。	40	8	321	～ 299	100
17	2019	5	13 ～ 14	アルコール蒸留塔で清掃作業中、苛性ソーダが付着していた場所に座り、右臀部に火傷を負った。	25	12	514	～ 299	100
18	2019	6	10 ～ 11	立体倉庫前にて、搬送装置（停止中）のレール付近を掃除機で清掃中、右手で掃除機本体（7.5kg）を持ち、掃除機のヘッド部がレールに挟まったため、両手で外すため掃除機を置く際、腰をひねり負傷した。	53	19	921	～ 499	300
19	2019	6	19 ～ 20	工場でナイロン袋に入ったホースを持ち上げた際、中に残っていた硝酸銀溶液が保護服の中に入り、左肘に熱傷を負った。	25	12	519	～ 299	100
20	2019	6	17 ～ 18	出張先での移動中に、道路に段差があることに気付かず、足を踏み外して転倒し、右足首を脱臼骨折した。	54	2	417	～ 999	500
21	2019	6	17 ～ 18	退社時、従業員カードをゲートにかざした後カバンから携帯電話を取り出そうとしたとき、階段で足を踏み外して転倒し、左手首を骨折した。	47	2	413	～ 999	500
22	2019	7	14 ～ 15	顧客先で打ち合わせをしている際に、資料・PCの入った少々重い荷物を持ち上げたところ、急性腰痛症となった。	50	19	611	～ 49	30
23	2019	7	2 ～ 3	作業終了後、着替えをするため移動中、3F付近の段にて足を踏み外し転倒した際、手すりに左腕が引っ掛かり、左肩を脱臼した。	31	1	413	～ 499	300
			0	休憩後、作業場に戻る通路を小走りに走っていた。通路が滑りやす					50

24	2019	8	1	い床材のため、足がもつれ、転倒し、左手を骨折した。	38	2	416	～	99
25	2019	8	17 18	勤務時に防じんマスクをせずに原薬粉碎処理機の機材洗浄中、薬物を吸い込んだことでアレルギー反応が起こり、体調不良となり、急性過敏性肺炎の疑い、化学性肺炎の疑いとなった。	46	12	519	～	299
26	2019	8	10 11	作業室内で包装材料を台車に載せて運搬中、前方の確認がしづらい状態であったため、機械に頭をぶつけて頭部と頸部を負傷した。	57	3	169	～	999
27	2019	9	10 11	施設内にて、1340?コンテナの洗浄後、踏み台の天板から降りる際、2段目のステップで階段を踏み外して滑り、右側お尻から床に転落した。その際、右大腿骨を折った。	53	1	371	～	499
28	2019	9	11 12	施設内にて、空調機上部のフィルタ交換中、フィルタをはめ込む際、足場にしたロールフィルタが重みでへこみ、左足を踏ん張り、左大腿を負傷した。	53	19	391	～	299
29	2019	10	14 15	物流の製品倉庫で、包装資材の入った段ボールを両手で持ち上げたときに、腰を痛め、その後20kgの段ボール箱を持ったときに、腰にギクッときて歩くのも困難となり、腰椎椎間板ヘルニアを負った。	27	19	921	～	299
30	2019	10	9 10	製造工場内の原料混合ミキサーの機械設置場所で、ミキサーの内容物が排出口より排出できない状態となり、内容物を掻き出す目的で、排出口に指を差し入れて回転刃により左手中指を・環指を切断した。	33	8	162	～	49
31	2019	11	15 16	施設内3階エレベータ緩衝室にて、選別能力テスト中、シートシャッターを途中まで開け、作業後、部屋を出ようと振り向いた際、シートシャッター下部のバーに頭頂部を打ち、頸椎を捻挫した。	51	3	391	～	299
32	2019	11	20	品質管理棟2階から1階に通じる廊下階段を下りているとき、足を踏み外し転倒し、頭部と手首に打撲および擦傷を負った。	55	1	413	～	500

			21					999
33	2019	11	16 ～ 17	雨天時、夜勤のため出社したとき、建物と窒素タンクの間にある坂道にある金属製の蓋で滑り、右足首を骨折した。	57	2	417	500 ～ 999
34	2019	11	15 ～ 16	包装機で作業員2名が操作パネルを挟み、トラブル後の確認作業をしていた。被災者がしゃがみ設備内を確認後立ち上がった際、もう1人の作業員が操作パネルを開けたことに気付かず、操作パネルに頭部を強打した。頭部の打撲により首を負傷した。	20	3	612	300 ～ 499
35	2019	12	14 ～ 15	施設屋上にて、冷却塔外壁を脚立に乗り高圧洗浄機で洗浄作業中、強風にあおられ、落下転倒し、左足を骨折し、左手首の挫傷を負った。	46	2	371	500 ～ 999
36	2019	12	14 ～ 15	調整室ステージ上にて、製造用水殺菌ブロー中、加熱された製造水をバケツで採取し、片手でバルブを閉める際、バケツの重みにより、バケツをひっくり返し、左足にかかり、火傷した。	45	11	529	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。